

平成29年度 基本事業評価シート（平成28年度実績評価）

政策 01 安全・安心に暮らせるまち  
 施策 02 循環型社会の形成  
 基本事業 01 ごみの減量化  
 主管課： 生活環境課  
 関係課：

1 基本事業の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
市民，市内事業者	家庭・事業者から排出される可燃ごみ，不燃ごみ，粗大ごみを減量する。

2 基本事業の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

家庭系ごみの排出量（1人1日当たり換算）		（g）				生活環境課
基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）	
573.00	571.00	565.00	573.00	560.00	545.00	
向上指針	下がると良い	（状況）28年度の1人1日当たりの家庭系ごみの排出量は，基準値から8g，前年度比でも6g減（約1%減）となり，順調に推移しています。 （原因）前年度比で，不燃ごみ23t（1.1%減），粗大ごみ6t（1.4%減）減量したことにより，総量では1tの減量となっています。 ※再積算により基準値を修正しています。				
対前年度	向上					
目標達成度	中					
次年度課題	課題とする					

事業系ごみの排出量		（t）				生活環境課
基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）	
3,864.00	3,911.10	4,014.30	4,140.00	3,142.00	3,113.00	
向上指針	下がると良い	（状況）市内事業所等の増加もあって，事業系ごみの排出量は増加傾向にあり，前年度比103.2t（2.6%増）の増となりました。 （原因）これまで事業所に対する働きかけが十分でなかったことから，27年度より，毎年実施する事業者対象の環境アンケート実施時に，古紙類リサイクルに関する情報を同封しています。アンケートの結果，ごみの分別に積極的であることがわかりましたが，まだ成果には表れていません。ごみの減量がコストの削減にも繋がることを更にPRしていく必要があると考えます。				
対前年度	低下					
目標達成度	低					
次年度課題	課題とする					

基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）	
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
向上指針						
対前年度						
目標達成度						
次年度課題						

基準値（H26）	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（H33）	
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
向上指針						
対前年度						
目標達成度						
次年度課題						

